

令和5年度第9回（12月）幸田町教育委員会定例会 会議録

開会日時 令和5年12月6日（水） 午前 9時08分

閉会日時 令和5年12月6日（水） 午前10時25分

場 所 幸田町役場 4階 401会議室

出席者 教育長 池田和博

委 員 伊藤秀雄

委 員 壁谷昭代

委 員 中西雅俊

委 員 穂吉沙織

説明のため出席した職員

教育部長 菅沼秀浩、次長兼文化スポーツ課長 夏目守雄、
学校教育課長 山崎二郎、学校教育課学校指導担当課長 小嶋智香、
学校教育課指導主事 近藤克幸、同 鈴木祥之

会議録作成職員

学校教育課主幹 近藤京子

議事事項

第13号 幸田町学校運営協議会規則の制定について

第14号 令和6年度学校閉校日の設定について

（議事の要旨等）

■第13号議案

幸田町学校運営協議会規則の制定について

学校教育課長 議案書等により説明

教育長 質疑を許可

壁谷委員 中央小学校で今年やってみて、利点や良くなかった点はありませんか。

近藤指導主事 今はまだ、校長が中心になってということで、委員の中で取りまとめていくのは難しいが、少しずつ学校にどのようなことができるか、我々大人がどのようなことをやっていけるのかと

というような話し合いを基に、委員が地域の 1 人としての意見を出していた。委員中心に地域の方が学校や子どもをという関係を作っていくというスタートとしては良い方向性がみえていると感じた。

伊藤委員
教育長

中央小学校の委員は具体的にどのような方なのか。

PTA の会長、岩堀と横落の区長、老人クラブの会長、地域の読み聞かせボランティアの代表の方等で、学校運営協議会のためにというよりも以前からある地域連携協議会という学校独自で作った組織のメンバーで構成している。学校運営協議会の委員は、このような方々でなければならないということはなく、まず、学校評議委員、学校関係者評価委員を発展的に話し合い、長いスパンをやっていただけるような方を選ぶなど、やりやすい方向へ進化していけばよいと思う。

穂吉委員

初めに決めたことを変えていくのは難しいと思うので、委員の選出方法等、どういった方が入るのがコミュニティスクールとして有効なのか、もう少し練り上げてから令和 6 年度のスタートを迎えたほうが良いのではないかな。

近藤指導主事

選出方法は、運営の手引きに学校とともに行動していける人を選定とある。各学校でコミュニティのあり方に特徴があるということで、教育委員会できちっと一つに決めるというよりは、学校の中で議論しながら、今の人選から徐々にどういう人が適任なのかっていうところも、校長を中心に、地域の方々の意見も踏まえながら、少しずつ、よりよい形にということで審議しながら考えていく。

教育長

第 13 号議案「幸田町学校運営協議会規則の制定について」の採決（挙手を求める）

委 員
教育長

挙手（全員）

原案のとおり可決することを宣言

■第 14 号議案

令和 6 年度学校閉校日の設定について

教育長

議案書等により説明

教育長

質疑を許可
(質疑なし)

教育長

第 14 号議案「令和 6 年度学校閉校日の設定について」の採決（挙手を求める）

委 員	挙手（全員）
教育長	原案のとおり可決することを宣言

幸田町教育委員会会議規則第 15 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

令和 6 年 1 月 5 日

教育長	池田 和博
-----	-------

委 員	壁谷 昭代
-----	-------

会議録作成職員	
学校教育課主幹	近藤 京子